



叶える、
なりたい私



東山会ご紹介

「その人らしく」
笑顔で生ききるまちづくり

地域の皆さまが、住み慣れた場所で安心して、
切れ目なく良質な医療を受け、「その人らしく」その生を全うできる。
東山会は、そんな地域づくりを目指す地域密着型の医療機関です。

ー2次救急・急性期病院ー

設立／1982年
ベッド／地域包括医療病
棟83床、透析66床
アクセス／京王線
「調布」駅徒歩3分

事業内容／外来、入院、
透析センター、内視鏡センター、
ドック・健診センター



調布東山病院

ー人工透析クリニックー

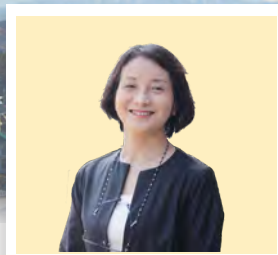
設立／1990年
ベッド／透析40床
アクセス／京王線
「聖蹟桜ヶ丘」駅徒歩3分



桜ヶ丘東山
クリニック

ー人間ドック・健康診断ー

設立／2024年
アクセス／京王線
「仙川」駅徒歩2分



東山会 理事長からのメッセージ

東山会は、1982年に先代の後藤田圭博が創業しました。以来、地域医療を担う「かかりつけ急性期医療機関」として、「地域の誰もが、いつでも、安心して、より高度な医療を受けられる病院」をめざして歩んでまいりました。

高齢化社会・慢性疾患主流の時代において、私たちは、医療の質を保つことに精進するとともに、患者さま・ご家族・地域に「寄り添う」医療を行うことが大切な役目と考えています。地域の皆さまが「その人らしく」生きることができるよう、皆さんの力を東山会で発揮していただけることを願っています。

医療法人社団東山会 理事長 小川 聡子



東山訪問看護
ステーション

全施設が駅近で
アクセス抜群の
立地♪

ー訪問看護ー

設立／2016年
アクセス／京王線
「調布」駅徒歩3分

ー居宅介護支援ー

設立／2000年
アクセス／京王線
「調布」駅徒歩3分



喜多見東山
クリニック

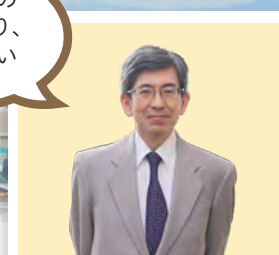
ー人工透析クリニックー

設立／2001年
ベッド／透析34床
アクセス／小田急線
「喜多見」駅徒歩5分



東山ドック・健診クリニック
ウェルピアザ仙川

施設間合同の
勉強会もあり、
風通しのよい
環境です。



調布東山病院 院長からのメッセージ

調布東山病院はこの地域で暮らす人たちに急性期医療を提供する病院です。急性期医療というと、救急、手術、化学療法などを思い浮かべますが、東山会が目指していること（理念）はその先にあります。それは、誰もが住み慣れた地域で、自分らしい暮らしができるようにすることです。そのために、私たちはアドバンス・ケア・プランニングに積極的に取り組み、ユマニチュード（認知症・高齢者に「あなたのことを大切にしている」という思いを伝えるケア・コミュニケーションの哲学と技法）を導入しています。私たちの思いに共感し、ともに働く仲間となっていただけることを楽しみにお待ちしております。

調布東山病院 院長 須永 真司

CHOFU TOUZAN HOSPITAL

看護部長からのメッセージ



看護部長 福地 洋子

「その人らしく」成長できるよう
支援しています

当会は人間力・技術力を高める人づくり、組織づくりを目指しており、全員主役の組織です。新たな企画や試みにも他部門からの支援があり、働きやすい環境です。

看護部では専門職として誇りを持ち、安心・信頼される質の高い看護の提供を目指し、日々、努力しています。また、患者さまと最も身近に接する私たちは、『患者さまに寄り添い、患者さまの声に耳を傾け、思いやりのある看護』を大切にしています。「自分自身や家族が病気になったらこんな看護をしてもらいたい」という気持ちを大切に、心のこもった看護を実践しています。

明るく活気ある東山会で
一緒に働きましょう！

看護部の理念

私たちは専門職として誇りを持ち、
患者さま、ご家族、地域の皆さまの立場を
尊重し、安全で質の高い看護を実践します。

看護部基本方針

1. 一人ひとりの人格・権利を尊重して支援します。
2. 医療チームの連携を深め、安全で安心な納得できる看護を提供します。
3. 自己能力の開発に努め、より質の高い看護を追い求めます。

教育への姿勢

1. 新卒者が既卒者かにこだわらず、一人ひとりの学ぶ力を尊重します。
2. 当院の教育システムに合わせて丁寧・親切に指導し、実践においては患者さまと心が通う、信頼される看護を目指します。
3. お互いの成長を支えて高めあえる環境づくりを行い、やり甲斐や喜びを感じられるように支援します。
4. 幅広く様々な分野に精通して実践力を高めることはもちろん、専門職としてもさらにキャリアアップができるようサポートしています。

広がる、あなたの活躍の舞台

ジェネラリストとして知識を深め技術を磨くことはもちろん、
消化器・糖尿病・透析をはじめ専門性に特化した看護を学び、
臨床実践能力を高めることもできます。

5 階病棟

病床数 41 床、外科・整形外科・消化器内科の混合病棟です。様々な疾患の手術療法・化学療法の急性期看護や、緩和療法などの終末期看護を実施しています。患者さまが「その人らしく」いられるように、患者さま・ご家族に寄り添い、入院初期より退院後の生活をイメージした支援を行っています。

6 階病棟

病床数 42 床の内科系中心の病棟です。内科全般の患者さまが入院されるため、幅広く総合的に看護を学ぶことができます。スタッフは 20 ～ 30 代が中心です。互いにコミュニケーションをとり協力しあい、和気あいあいとした明るい職場です。患者さまに対して家族のように関わり、根拠に基づいた看護ケアを実践しています。

外来

内科、外科、整形外科の他、糖尿病外来や血液内科など、様々な専門外来を行っています。化学療法や輸血療法などの専門的治療も行い、2 次救急医療にも対応していますので、幅広い知識と技術を求められますが、とてもやりがいのある職場です。糖尿病患者さまには、糖尿病療養指導士による療養指導やフットケアを行い、専門職としてのスキルを発揮できる職場です。また、外来での在宅療養支援を行い、地域での暮らしを支えています。

ドック・健診

人間ドックと健診が独立した落ち着いたフロアで、様々なニーズに対応しています。受診された方に、「調布東山病院で人間ドック、健診を受けてよかった」と満足していただけるように安全・安心で質の高い看護の提供をしています。また、健康寿命を延ばしていくための予防医学に貢献できることを目指して保健指導に力を入れています。

内視鏡センター

食道・胃・大腸・気管支・膵胆管の内視鏡検査を行います。生検やポリープ切除、止血処置、胃瘻造設・交換など、様々な処置や治療に携わることができます。2 年間実務経験を積み、試験に合格すれば内視鏡技師免許の取得も可能です。

人工透析

本院の透析センターは外来 60 床・入院 6 床で血液透析、腹膜透析を行い、慢性腎不全の保存期指導も行っています。喜多見東山クリニックは 34 床、桜ヶ丘東山クリニックは 40 床で、血液透析をメインに行っています。患者さま一人ひとりの QOL を大切にし、医師・臨床工学技士・看護師のチームワークで安全な治療に取り組んでいます。

ユマニチュード® 推進室

「ユマニチュード®」とは「ケアする人とは」「人とは」「ケアとは」を問う哲学と、それにもとづいた実践的なテクニックからなる包括的コミュニケーションメソッドです。東山会は、教育パートナー施設として、認定インストラクターが在籍し、ユマニチュード® の教育、ケアの浸透に取り組んでいます。

入退院支援室

住み慣れた地域で患者さまが安心して暮らせるように、入院早期から患者さまの状態をアセスメントし、生活全般に及ぼす影響を把握し、退院支援を行っています。入退院支援室は、多職種が丸となって退院支援できるように全体を管理・調整しています。

訪問看護ステーション

「住み慣れた地域・自宅で最後まで暮らしたい」
そんな思いに寄り添い、その方の生き方やご家族のあり方を尊重しながら、療養生活を支えるケアを提供しています。



看護部 教育理念

病院の理念・看護部の理念を基盤とし、
東山会の目指す医療を実践していくために、
専門職業人として自立し、信頼される質の
高い看護が実践できる看護職員を育成します。



クリニカル
ラダー



e-ラーニングも導入！



入職1年目のチームメンバーには、入職2～3年目のプリセプターが教育・指導をする〈プリセプター制度〉を導入しています。

教育方針

- 1 看護実践能力を段階的に習得し、適確に判断・行動できる看護職員を育成します
- 2 倫理観に基づいた豊かな人間性・社会性を備え、地域に貢献できる看護職員を育成します
- 3 主体的に学びを深め、自己啓発・自己研鑽ができる看護職員を育成します
- 4 個々を尊重し、お互いに思いやる円滑な人間関係を築くことができる看護職員を育成します
- 5 看護研究のできる能力を有する看護職員を育成します

「その人らしく」成長できるよう
支援しています



ラダー
I
1年目～

チームメンバー

組織の一員としての規律を遵守しつつ、基本的な業務を、指示・指導を受けながら遂行できる。

ラダー
II
2～3年目

プリセプター

組織（部署）内での役割を正しく認識し、周囲のメンバーと協調しながら担当する業務を自律的に遂行できる。

ラダー
III
4～6年目

チームリーダー

リーダーシップを発揮し、後輩を育成できる。

組織（部署）内での役割を認識し、周囲の模範となる行動をとっている。

ラダー
IV
7年目～

責任者候補

組織（部署）内での役割を認識し、目標達成に向け上司を補佐できる。

組織（部署）内での専門性を追求し、所属の目標達成に積極的に貢献している。

新人教育 年間計画

経験がなくても
ちゃんと学べて
ステップアップ♪



4月

〈病院・看護部オリエンテーション〉
〈基礎研修〉ユマニチュード研修・電子カルテ研修・接遇研修

〈看護技術実践研修〉
清潔援助・摂食嚥下・採血・点滴管理・食事援助技術・フィジカルアセスメント

5月

〈他部署研修〉
栄養科・リハビリ科・臨床工学科
放射線科・検査科・薬剤科

〈委員会による研修〉
感染対策・医療安全・褥瘡対策・記録

6月

7月

〈3ヵ月リフレッシュ研修〉
悩みや不安の解消・入職後3ヵ月の学びの共有

〈透析センター研修〉
透析療法の必要性和透析療法の流れ理解
透析患者の特徴理解・透析看護の役割理解

〈手術室看護研修〉
手術室での一連の流れ理解・周術期の自分の役割理解

〈内視鏡センター研修〉
内視鏡を受ける患者の理解
内視鏡看護の役割理解

〈他病棟研修〉

8月

9月

10月

〈6ヵ月リフレッシュ研修〉
悩みや不安の解消
入職後6ヵ月の学びの共有

〈看護倫理研修〉
看護師に必要な倫理を学ぶ
倫理的課題に取り組む

〈訪問看護研修〉
訪問看護業務を理解・訪問看護の役割理解

11月

12月

〈1年目フォローアップ研修〉
1年を振り返り、次年度に向けての目標を明確にする

〈外来研修〉
外来業務を理解
外来看護の役割理解

1月

2月

3月

〈1年の振り返り〉
学びの成果発表
新人研修修了証授与



～新人教育の目的～

1. 専門職業人・社会人・組織人としての基礎を確立する（姿勢・態度・知識・技術）
2. 一人ひとりの人格・権利を尊重し安全で質の高い看護を実践する
3. リアルティーストックを受けずに、職場に適応する

東山会で得られるキャリア

こころざしを持ち、専門の看護の道に進む方を応援しています。
当会の看護部で経験を積んだ意欲あふれる方には、資格取得へ向けて東山会がバックアップ。資格取得後は、専門知識を活かした業務や講演など幅広く活躍しています。

特定行為研修

当院は「特定行為研修指定研修機関」として厚生労働省の指定を受け、研修を行っています。
研修を実施する特定行為区分は下記となります。
特定行為研修を修了すると、医師の指示を待たずにタイムリーなケアが提供できるようになります。

- ・栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連
- ・血糖コントロールに係る薬剤投与関連
- ・動脈血液ガス分析関連
- ・創部ドレーン管理関連
- ・透析管理関連

現在では15名活躍しています（2023年度）



当院で研修できるメリット

- ・自分の職場なので、気持ちも安心して実習に取り組める
- ・医師やスタッフも顔馴染みなので、不明点も聞きやすい
- ・特定行為研修をすでに取得した先輩のアドバイスももらいやすく、相談もしやすい
- ・患者さんの情報を取得しやすい
- ・上司も協力的なので勤務調整がしやすい



フィジカルアセスメントと
臨床推論を学べる貴重な機会です。
（特定行為研修を受けた看護師Yさん）



資格取得は大変だけど、看護の質も上がり、
自信に繋がりました！
（特定行為研修を受けた看護師Tさん）

ユマニチュード®

東山会では、法人全体でフランス発祥のケアメソッドである『ユマニチュード®』に取り組んでいます。ユマニチュード®の組織への浸透を目指して、全職員対象の院内研修の開催や、ユマニチュード®院内リーダーの育成に力を入れています。

ユマニチュード®とは

ケアを通して人と人との絆を深める、フランスで生まれた技法です。
「人間らしくある」という意味を持つフランス語の造語で、最期の日まで尊厳をもって「その人らしく」あり続けることを支えるために、ユマニチュード®の哲学と技術が存在します。

ユマニチュード®の4つの柱

ユマニチュード®では、相手に対する自分の行動がすべて「あなたはとても大切な存在です」というメッセージになるように、4つの基本を定めました。
その4つとは「見る」「話す」「触れる」「立つ」で、これをユマニチュード®の「4つの柱」と呼んでいます。

見る



水平、正面、近く、長く見ることによって、相手に愛情や優しさを伝えます。

話す



穏やかに、低めのトーンで話します。ポジティブな言葉を意識します。

触れる



広い面で、ゆっくりと、包み込むように触れます。介助が必要な時も、上から掴まず、下から支えます。

立つ



ひとは「立つ」ことによって人としての尊厳を自覚し、生理的にもよい影響を与えます。

ユマニチュード®の技術を身につけられる環境が整っています

ユマニチュード®インストラクターがスタッフと一緒にケアを実践しています。また、ユマニチュード®の技術を身につけたリーダースタッフが病棟にいるので、いつでも気軽に相談でき、ケアを実践的に学ぶことができます。月に一度、認知症ワーキンググループで勉強会も行っています。



ユマニチュード®ブロンズ認証を取得

2023年に、当院の病棟では、日本初となるユマニチュード®ブロンズ認証を取得しています。ブロンズで求められる達成内容は、「組織をあげてユマニチュード®に取り組む体制が出来上がっていること」「職員がユマニチュード®の基本を理解し、実践に取り組んでいる組織であること」です。



認定看護師の活躍

当院では認定看護師がさまざまな場所で活躍しています。

院内での勉強会や、地域の講演会、患者さまからのご相談を受ける「認定看護師相談外来」など、専門的知識を幅広く活かしています。

摂食・嚥下障害看護 特定認定看護師

ご入院される患者さまを中心に食べる機能の評価や助、家族指導を行っています。また、高齢者の口腔内評価に適している OHAT（口腔ヘルスアセスメントツール）を導入し、口腔内にトラブルが生じている方々の早期介入や、スタッフへの啓蒙活動を行い、ケアの標準化の取り組みを行っています。

認知症看護 特定認定看護師

認知症特定認定看護師として、認知症の専門的な知識を活かし、認知症の人の行動背景にある真の思いを汲み取り、意思を尊重し、認知症の人の行動が制限されることなく、自己選択や意思決定ができるよう支援します。認知症サポートチームでは、認知症の患者さんがまるで生活の一部に治療があるような安心した環境で入院生活が送れるように多職種協働して活動しています。

糖尿病看護 認定看護師

糖尿病に関しての悩みや困り事、生活の中で血糖値をコントロールしていく方法、糖尿病を持つ方をサポートする方法と一緒に考えていきます。糖尿病と共に生きていく方のサポーターとなれるよう活動しています。

その他にも、糖尿病療養指導士を取得した看護師 8 名、消化器内視鏡技師を取得した看護師 10 名が活躍しています！

感染管理 特定認定看護師

感染症学や疫学など、感染症管理に関する専門的知識に基づき、病院に関わる全ての方々を感染から守ることを目的に日々活動しています。特異的な感染症への対応時には、施設内だけでなく保健所や行政とも連携し、近隣施設関係職員への指導や医療機関への訪問指導など、地域の感染管理活動も行っています。

在宅ケア 認定看護師

「住み慣れた地域で安心して暮らし続ける」ことができるよう、その人の文化・歴史・想いを大切に活動しています。心身の安定を図るため、看護職として必要や情報提供を行い、多職種在宅チームでご利用者さまの「持っている力」を引き出すサポートを行います。また、的確な状況判断によるタイムリーな医療提供（特定行為：栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連）の実施も行っております。

e ラーニング学習



当院は、認定看護師による勉強会や委員会独自の勉強会などを動画配信で行っています。e ラーニング形式なので、自宅や好きな時間に学習することが可能です。そのほかにも、学研ナーシングサポート・ナーシングメソッドを導入しています。この教材には 1,320 ほどのコンテンツがあるので、どのラダーに属している看護師にも役立つツールです。

不安な技術や知識があっても、しっかり学習できる環境が整っています。

看護部の取り組み

「その人らしく」笑顔で生ききるまちづくりを実践するために、東山会の看護部では職員の技術や意識向上を目指した勉強会はもちろん、地域の医療・介護職の皆さまとともに学ぶ場、地域住民の皆さまとのつながりを大切にしたイベントなどを積極的に展開しています。



看護部ミニ総会

看護部では年に一度、ミニ総会を開催し、現場の改善や尊厳について報告を行い、お互いを知る機会を設けています。看護部各部署、また認定看護師や専門職から実践報告があり、それぞれの苦労、工夫を知ることができる貴重な機会となっています。



外部講師による勉強会

定期的に外部講師をお招きし、勉強会を開催しています。職員の知識向上のための貴重な機会となっています。

最近では「ACP」「身体抑制“0”の取り組み」「認知症ケア～せん妄と薬剤～」「認知症ケアの倫理」などの勉強会を行いました。



認知症ワーキンググループ

認知症患者さまに、より良い日々を送っていただくためにスタート。職員が患者さま一人ひとりにしっかり向き合い、効果的な援助を考え、実践に繋げています。



看護研究発表

看護の疑問を解決し、科学的に見つめ直すために、毎年 3 月に看護研究発表を実施しています。一連の研究と発表を通して、成長を実感できます。また毎年、学会・研究会に 6～8 演題発表し、看護の質向上に繋がっています。他部署の取り組みを知るよい機会にもなっています。



医療介護勉強会

当院の看護師を中心とした医療職と、地域の訪問看護師・ケアマネジャー・介護職が合同の勉強会を行っています。毎回、多くの多職種の方にご参加いただき、「医療と介護との垣根が低くなった」「チーム調布が誕生した」などの声をいただいています。



つなぐカフェ

地域住民の皆さまを対象に、日頃の悩みや不安を少しでも解消していただけるよう、カフェ形式のミニ講演会・相談会を開いています。コーヒーを飲んだり、お菓子を食べながら、同じ悩みをもつ方との交流の場にもなっています。

福利厚生



職員食堂

病院建て替えに際し、新しい施設への職員の要望が多かったのが「広い食堂」というものでした。その声に応じて作られた施設は、天気の良い日には富士山も見える、眺望抜群のスペースになりました。

メニューは、日替わり定食（410 円）と麺類が 3 種類（ラーメン・うどん・そば、各 320 円）、それとカレー（320 円）です。

麺類・カレーの種類は週変わりでの提供になります。



女性单身寮

病院から徒歩 5 分、調布駅からは徒歩約 7 分と、通勤や外出にも便利な場所にある、東山会職員の单身寮です。全部屋にエアコン・IH クッキングヒーターを完備しており、またケーブルテレビも視聴可能です。

居住エリアへの入口はオートロック式となっており、また警備会社のシステムも導入しているので、セキュリティも安心です。

東山会では寮に入居される方にも住宅手当が支給されるので、リーズナブルな個人負担でご利用いただけます。入職前の寮の見学も可能ですので、入寮・見学希望の方は、面接時にお申し出ください。



福利厚生委員会の活動

当院では、福利厚生委員会があり、夏と冬に 1 回ずつイベントを開催しています。今まではバーベキューイベント、忘年会、アイス配布イベント、売店で好きな飲食物を買えるチケット配布、豪華なお菓子セットの配布など。職員みんなが楽しみにしています♪



▲一週間毎日アイスをいただきました！



▲メッセージ付きのお菓子です♪

ワークライフバランス



日勤と夜勤の制服を分けて業務効率化！

当院では日勤と夜勤の制服を分けています。

そのため、日勤と夜勤のスタッフをすぐに見分けることができ、勤務終了後に仕事を頼まれることがなくなったり、残業をしているスタッフがすぐにわかるので、声をかけやすくなりました。

お休みもしっかりあるので プライベートも充実！

🎵 年間休日 125 日（2024 年度）

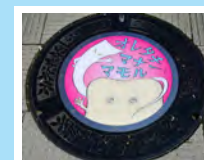
🎵 夏休みは 6 月～ 12 月まで 3 日間取得可能

職場環境のご紹介

駅から 3 分、都心へ 15 分の立地が自慢です。

調布東山病院は調布駅から徒歩 3 分。病院のある調布は新宿まで最短 15 分と、都心に近い場所にありながら自然にも恵まれた、通勤にとっても便利な立地です。2017 年 9 月には、病院の隣に映画館を含む商業施設『トリエC館（シアタス調布）』がオープン。さらに生活に便利な街として注目されています。

調布東山病院



◀調布東山病院の所在する調布市は、『ゲゲゲの鬼太郎』ゆかりの街。マンホールにも妖怪が。

桜ヶ丘東山クリニック（人工透析）

🎵 ジブリ映画『耳をすませば』の舞台ともいわれる聖蹟桜ヶ丘の駅から徒歩 3 分。駅には京王系列のショッピングセンターなどもあり、仕事と生活を両立しやすい環境です。

喜多見東山クリニック（人工透析）

喜多見駅から徒歩 5 分。世田谷区の閑静な住宅街に位置し、落ち着いた環境で働くことができます。新宿・表参道まで電車で約 30 分と、仕事も遊びも充実する立地です。



仲間の輪

【コメディカル・事務 紹介】



お互いの専門分野を尊重しながら、
多職種と協力し、よりよい医療を患者さまに
提供する風土が根付いています。



急性期だからこそできる廃用予防、ADL へのアプローチが早期の自宅退院につながると考え、リハビリテーション専門医を中心に、専門職種が力を合わせて、チームアプローチで取り組んでいます。



検体検査、採血業務、輸血検査、生理機能検査を行っています。信頼性の高いデータを迅速かつ正確に臨床に提供しています。また、院内感染対策委員会や輸血療法委員会を運営しています。



患者さまが使用する薬の用法・用量、相互作用や重複投与などを確認しています。専用の無菌調剤室を有し、注射薬を含む通常の調剤業務の他、抗がん剤等の無菌調剤業務も行っています。



血液浄化装置や人工呼吸器、また各種ポンプやモニタ等の各種医療機器の操作及び保守点検・管理を行っています。最新の医療機器安全情報を収集して、関連する部門や職員へ情報提供を行い、チーム医療の一員として貢献しています。



地域連携室は、前方の地域連携・事務部門と、後方の医療福祉相談・ソーシャルワーカー部門からなります。病院の顔として、当院の特性を地域に向けて発信し、また地域のニーズを院内にフィードバックし、『地域完結型医療』『地域包括ケアシステム』において、地域と当院をつなぐ“架け橋”となる役目を果たしています。



栄養相談や病棟業務を行っています。NST や褥瘡、糖尿病教育、ICT など院内の様々な委員会にも参加し、医師や看護師、コメディカルのスタッフと協力して仕事をしています。



各種画像検査及び画像診断を行っています。正確で迅速な診断のため、各科の医師や地域の医療機関と連携を取りながら、最新鋭の機器による画像検査を行っています。



楽しいイベントもたくさん！

東山会には公認キャラクターがいます



きみどり色のカモ“きたみん”は、喜多見東山クリニックの医師や看護師が考案したキャラクターです。以来、東山会職員に愛され、東山会の公認キャラクターとして地域の方々に元気を届ける活動をしています。



▲ 地域のイベントにも出ています♪



ブルーサークル

ブルーサークル

11月14日の世界糖尿病デーにあわせて、11日から19日まで、シンボルカラーとなるブルーのライトアップをしたり、地域のこどもに向けて、医療職体験イベントを行っています。毎年、多数の申し込みがある大人気のイベントです！職員もとても楽しみにしています。



ブルーサークル



クリスマス会

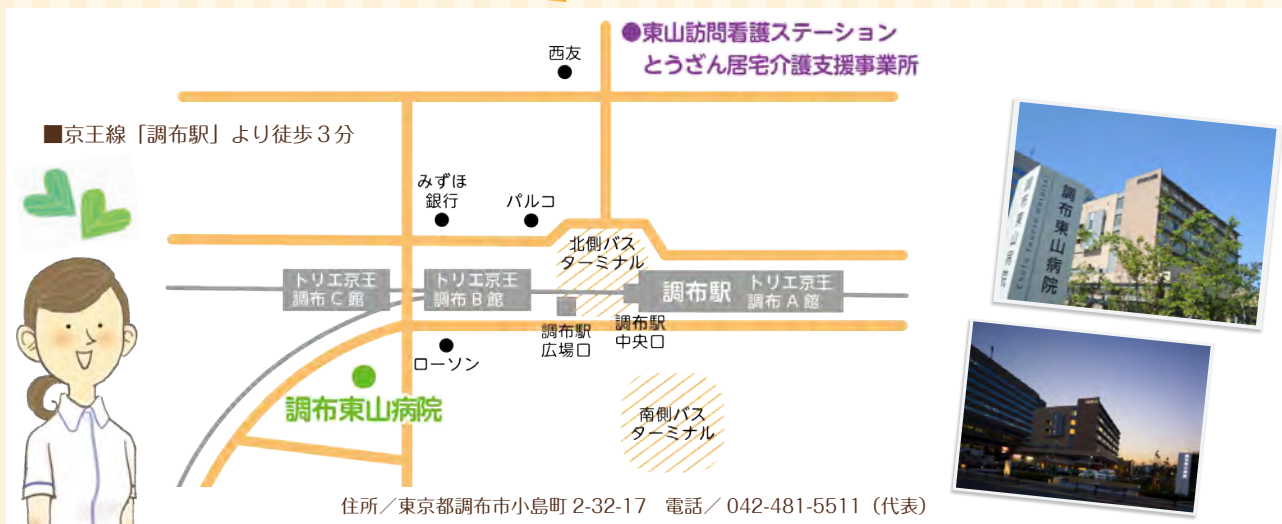


忘年会

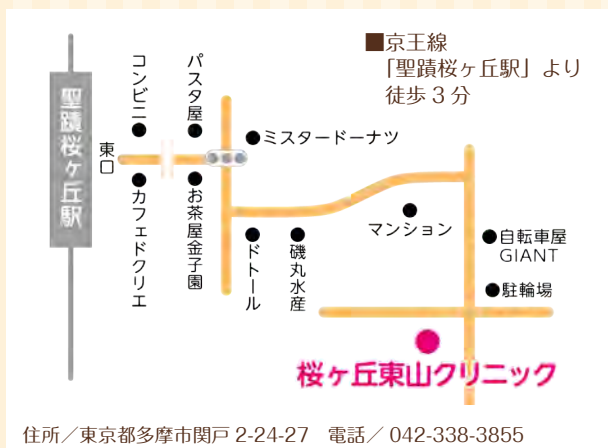


地域へ出張講座

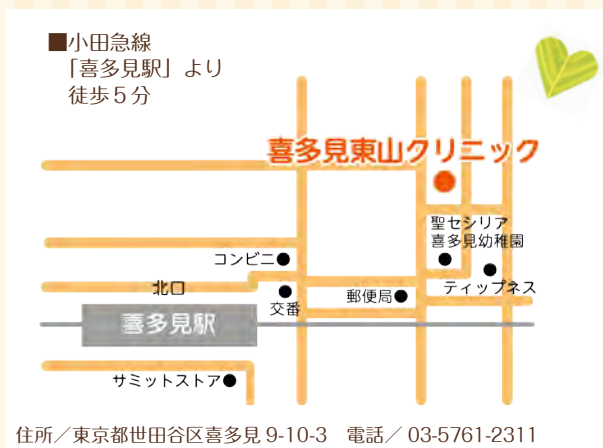
調布東山病院



桜ヶ丘東山クリニック



喜多見東山クリニック



東山ドック・健診クリニック ウェルピアザ仙川



その人らしく笑顔
で生きる
まちづくり

TOUZAN-KAI
NURSING UNIT